

暫定版

2027年度 入学者選抜要項



本要項は2027年度入学者選抜要項（暫定版）となります。

出願にあたっては7月以降に確定し、公表予定である確定版の入学者選抜要項や、各選抜の学生募集要項の内容を必ずご確認ください。

青森公立大学

目 次

I	青森公立大学の概要	1
II	2027年度入学者選抜の概要	5
III	一般選抜（前期日程、後期日程）	6
1	実施学部・学科及び募集人員	6
2	選抜方法・実施時期等	6
3	出願要件	6
4	出願上の注意	6
5	併願上の注意	6
6	実施教科・科目・配点	7
IV	総合型選抜 I・II	8
1	総合型選抜 I	8
2	総合型選抜 II	10
	（1）帰国生徒特別選抜	10
	（2）社会人特別選抜	11
	（3）外国人留学生特別選抜	12
V	学校推薦型選抜	13
1	学校推薦型選抜（青森県内）	13
2	学校推薦型選抜（青森県外A）	14
3	学校推薦型選抜（青森県外B）	15
VI	受験上の配慮等に関する事前相談について	16
VII	学生募集要項について	16
VIII	大学案内の資料請求について	16

全ての選抜において、インターネット出願を導入しているため、紙媒体による学生募集要項の配付は行いませんので、公表後に本学「入試サイト」からダウンロードしてください。

I 青森公立大学の概要

■ 青森公立大学の歩み

青森公立大学は、青森地域における高度な教育研究機会の確保が求められる中、20万人を超える署名と20億円を超える寄付など地域の方々の大きな支援と期待を担い、1993年4月、旧青森市と東津軽郡（平内町、旧蟹田町、今別町、蓬田村、旧平館村、旧三厩村）の3町3村により経営経済学部経営経済学科を擁する大学として設置されました。

1997年度には、大学院経営経済学研究科（修士課程）が開設され、地域の経営経済領域における高度教育への期待に応え、高度専門職業人養成がスタートしました。

2006年度には、経営経済学部は「経営学科」、「経済学科」、「地域みらい学科」の3学科に改編され、さらなる教育の充実と地域に貢献する人材の育成を目指しています。2007年度には、大学院が博士後期課程を有する区分制博士課程（前期2年、後期3年）となりました。そして、2009年4月、公立大学法人として、新たな一步を踏み出しました。

地域のニーズに応えるための公開講座等を開講しているほか、講堂、図書館等の施設を地域の方々に利用していただいています。また、地域の活力を促進することを基本方針に、産官学連携による「青森まるっとよいどころ祭り」を始めとする特産物周知啓発、地域振興支援とそのための調査研究、伝統文化普及継承等の各種事業をおこなっており、まさに地域に根ざした大学として歩んでいます。

■ 学部・学科及び入学定員

経営経済学部	経営学科	入学定員 125名
	経済学科	入学定員 130名
	地域みらい学科	入学定員 45名

■ 教育理念

- I 教育に責任をもち、社会に対して教育の質を保証します。
- II 学部教育ではなく、学士教育に徹します。
- III 地域に開かれた大学として地域社会の発展に貢献します。

この教育理念を柱として、本学の教育目的を設定しています。

※本学は1993（平成5）年の開学以来、学士教育として掲げていますが、『「学士課程教育の構築にむけて」2008（平成20）年12月24日中央教育審議会（答申）』における学士課程教育と同じです。

■ 教育目的 「経営経済の専門性をもった教養人の育成」

経営経済に関する専門的な知識のみではなく、グローバルな視野とコモン・センスの涵養も重要です。広く人間社会に関わる豊かな市民的教養と特殊領域での専門知識を兼備した人間こそが、21世紀に求められる人材です。

■ 教育の基本方針

本学は、無限の可能性とみずみずしい感受性をもつ若者たちに開かれた学問探究の場であり、受験勉強に疲れ果てた者の休息の場ではありません。知的探求心に燃える若者が、専門的理論と技能、市民的教養を、豊かな学問的雰囲気の中で蓄積し錬磨し、自ら考える楽しみを発見するキャンパスである本学には、単なる知識詰め込み型の講義はありません。

本学は、次の方針を掲げるにより「学士教育」に対する社会的責任を果たします。

- ① 多くのことを教えすぎないこと。
- ② 教えるべきことは徹底して教えること。
- ③ 常になぜかの問いを発し、自分の頭で考えるための知識訓練とそこからの創造性を育むこと。

■ 教育目標

本学の教育目標は、グローバル化と情報化、多極化と複雑化が進展する現代社会にあって、経営経済の専門知識と豊かな教養を修めることによって解決すべき諸課題を的確に把握し、解決策を考案し、その実現のために協働できる、意欲的で活動的な人材を育成することにあります。

■ 教育方針 「3つのポリシー」 ※各ポリシーは変更の可能性があります。

◆ ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

- ① 経営学・経済学分野における知識を体系的に学び、複雑化する現代社会を複眼的な視点で捉えることができる。
- ② その専門性を自己存在や社会・文化および自然に関する学びと関連させて深め、より統合的に把握された理解へと進展させることができる。
- ③ 社会生活を営むうえで必要なコミュニケーションや情報リテラシー等の技能を身につけるとともに、地域社会の一員としての自覚をもち、自己を律し他者と協働して、地域社会の発展のために積極的に関わるができる。
- ④ 得られた知識や技能を活用して、自らの課題を発見し解決しようとする姿勢を保持し、自分自身の生き方の根源を見つめつつ、生きることが学ぶことであるかのように、生涯にわたって学びを続けることができる。

◆ カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施方針）

（編成方針）

- ① 多くのことを教えすぎない。「経営経済の専門性をもった教養人を育成する」という本学の教育目的を4年間で効果的に実現するため、また学生が集中して学べるように、教えるべき科目を厳選する。
- ② 教えるべきことは徹底的に教える。教育目的の実現をめざして、厳選した一つひとつの科目および関連する科目群については徹底して教える。
- ③ 常になぜかの問いを発し、自分の頭で考えるための知識訓練とそこからの創造性を育む。広い視野を醸成し、問題意識を発展させられるような学びの機会を提供する。

（実施方針）

- ① 人材育成モデルに基づいて科目を厳選し、1年次から段階を踏んで基礎・基幹・展開科目群を配置する。
- ② 1年次秋から教養科目群を配置し、「人文科学」「社会科学」「自然科学」の3分野全ての教養科目から、まんべんなく履修することを求め、深い人間理解と、広い視野からの複合的で柔軟な思考を養う。
- ③ グローバル化・情報化社会に対応した「外国語」「コミュニケーション」「情報」に関するACB科目群を、1・2年次を中心に配置する。
- ④ 少人数の演習科目群を配置し、より専門的な知見を深めるとともに、自らの課題を発見し解決するトレーニングをおこなう。
- ⑤ 将来にわたるキャリア形成に必要な知識と態度を身につけるための、キャリア教育科目群を全学科共通として配置する。

◆ アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

- ① 経営学・経済学分野を学び広い教養を身につけるために、高等学校段階で学ぶ基礎的な知識・技能を備えている（基礎的な知識・技能）。
- ② 経営、経済、地域の課題に関心をもち、論理的に考え、判断し、表現するための基礎的な力を備えている（思考力・判断力・表現力）。
- ③ 専門的な知識と教養的な知識を関連させ、より深く理解し実践するために、主体性をもって多様な人々と協働する態度を備えている（主体性・多様性・協働性）。

◆ 学科のアドミッション・ポリシー

(1) 経営学科

- ① 経営学の視点から組織の経営を学修するために、高等学校段階で学ぶ基礎的な知識・技能を備えている（基礎的な知識・技能）。
- ② 組織の経営の課題に関心を持ち、論理的に考え、判断し、表現するための基礎的な力を備えている（思考力・判断力・表現力）。
- ③ 様々な組織を理解するために、多様な考えに対する柔軟性を持ち、他者と協働し主体的に行動する態度を備えている（主体性・多様性・協働性）。

(2) 経済学科

- ① 経済学の視点から市場と経済主体（個人・組織・国家など）の活動を学修するために、高等学校段階で学ぶ基礎的な知識・技能を備えている（基礎的な知識・技能）。
- ② 経済の課題に関心を持ち、論理的かつ分析的に考え、判断し、表現するための基礎的な力を備えている（思考力・判断力・表現力）。
- ③ 現実の社会・経済を理解するために、多様な考えに対する柔軟性を持ち、他者と協働し主体的に行動する態度を備えている（主体性・多様性・協働性）。

(3) 地域みらい学科

- ① 地域の文化、社会、環境などを、経営学・経済学の視点を交えて学修するために、高等学校段階で学ぶ基礎的な知識・技能を備えている（基礎的な知識・技能）。
- ② 地域の課題に関心を持ち、論理的に考え、判断し、表現するための基礎的な力を備えている（思考力・判断力・表現力）。
- ③ 地域の未来を創造しようとする強い意欲と多様な考えに対する柔軟性を持ち、他者と積極的に交流し、協働しながら、主体的に行動する態度を備えている（主体性・多様性・協働性）。

本学では、アドミッション・ポリシーに基づき、総合型選抜（Ⅰ・Ⅱ）、学校推薦型選抜（青森県内・青森県外A・青森県外B）及び一般選抜（前期日程・後期日程）を実施し、学力の3要素等を多面的かつ総合的に評価して、入学者を選抜します。

選 抜 区 分	選 抜 方 法	知 識 ・ 技 能	思 考 力 ・ 判 断 力 ・ 表 現 力	主 体 性 を 持 っ て 多 様 な 人 々 と 協 働 し て 学 ぶ 態 度
総 合 型 選 抜 Ⅰ	出 願 書 類		○	○
	小 論 文	○	○	
	面 接		○	○
総 合 型 選 抜 Ⅱ （ 帰 国 生 徒 特 別 選 抜 社 会 人 特 別 選 抜 外 国 人 留 学 生 特 別 選 抜 ）	出 願 書 類		○	○
	小 論 文	○	○	
	面 接		○	○
学 校 推 薦 型 選 抜 （ 青 森 県 内 青 森 県 外 A 青 森 県 外 B ）	出 願 書 類 （ 面 接 を 含 む ）		○	○
	小 論 文	○	○	
一 般 選 抜 （ 前 期 日 程 ）	大学入学共通テスト	○	○	
	教科・科目に係る個別テスト	○	○	
	調 査 書 等			○
一 般 選 抜 （ 後 期 日 程 ）	大学入学共通テスト	○	○	
	調 査 書 等			○

※○は、特に重視する項目

■ 3学科の育成する人材像等について

(1) 経営学科

環境変化を的確に認識しながら、企業を始めとする様々な組織の仕組みを理解する能力。同時に、組織を革新的に存続・発展させていくための経営戦略を策定し、遂行できる知識と実践力を身につけます。

《育成する人材像》

- ・市場はもとより、多様な環境の変化に適応するだけでなく、自らが戦略的に変革を目指し、実践できる人材
- ・組織と個人の関わり合いや、組織における複雑な人間関係の問題に焦点をあてながら、多人数の協働を確立し、維持・発展できる人材
- ・会計情報を通して、組織の経営状況を明らかにし、あわせて資金の調達や運用に関わる財務上の問題を見出し、それに関する解決策を提示できる人材

(2) 経済学科

現実の社会経済を見据え、経済的諸課題に対してプロとしての経済分析手法を用いて解明する能力。同時に、諸政策・市場戦略を企画し、それを実行できる知識と行動力を身につけます。

《育成する人材像》

- ・金融、証券の専門知識をもとに、ファイナンスの問題を解決できる人材
- ・行政や非民間部門における政策分析を行う能力をもつとともに、プロとしての評価や判断が的確にできる人材
- ・企業経営、地域経済、国際経済等の様々なレベルで生起する経済問題を分析する能力をもち、それを解決できる人材

(3) 地域みらい学科

現状を変革しうるベンチャービジネスや地域産業、公共経営の実態を深く理解し、実践力を培います。同時に、地域の未来を見据え、現状を創造的、発展的に変革しうる地域社会のリーダーやキーパーソンとしての資質と能力を身につけます。

《育成する人材像》

- ・地域の基幹産業や地場産業等の経済活動領域において、新たな事業を創造し、複合事業の開拓を目指す、地域ビジネスの起業家、リーダーとなる人材
- ・自治体、社会的企業、NPO等の公共活動領域において、ビジネス感覚に満ちた政策立案、実行、新たな組織運営を目指す、地域行政、地域コミュニティ推進のリーダーとなる人材

※ 3学科の育成する人材像等は変更の可能性があります。

■ 教職課程について

経営経済学部 経営学科 高等学校教諭一種免許状（商業）
経済学科 高等学校教諭一種免許状（公民）

Ⅱ 2027年度入学者選抜の概要

選 抜 区 分			募集人員	出願期間	選抜方法等	試 験 日	試 験 地	合格発表	入学手続				
一 般 選 抜	前 期 日 程		1 1 8 名	2027年 1月25日(月) ～ 2月3日(水)	大学入学共通テスト (4 科 目) 国語 数学①から1つ 外国語(英語) 数学② 地理歴史 } から1つ 公民	(教科・科目に 係る個別テスト) 2027年 2月25日(木)	青 森 市 盛 岡 市 東 京 都	2027年 3月5日(金)	2027年 3月5日(金) ～ 3月15日(月)				
	経 営 学 科	5 4 名	----- 教科・科目に係る 個別テスト 国語・数学 又は 国語・英語										
	経 済 学 科	5 4 名											
	地域みらい学科	1 0 名											
	後 期 日 程		1 0 名		大学入学共通テスト (2 科 目) 数学①から1つ 外国語(英語)					教科・科目に係る 個 別 テ ス ト は 課さない	—	2027年 3月20日(土)	2027年 3月20日(土) ～ 3月27日(土)
	経 営 学 科	5 名											
経 済 学 科	5 名												
	地域みらい学科	—											
総 合 型 選 抜	総合型選抜Ⅰ		3 0 名	2026年 9月7日(月) ～ 9月17日(木)	出 願 書 類 小 論 文 面 接	2026年 10月17日(土)	青 森 市	2026年 11月2日(月)	2026年 11月2日(月) ～ 11月12日(木)				
	経 営 学 科	9 名											
	経 済 学 科	9 名											
	地域みらい学科	1 2 名											
	総合型選抜Ⅱ	若 干 名											
		(募集人員は 一般選抜前期 日程の募集人 員に含む)											
帰 国 生 徒													
	社 会 人												
	外国人留学生												
学 校 推 薦 型 選 抜	学校推薦型 (青森県内)		1 1 5 名	2026年 11月4日(水) ～ 11月13日(金)	出 願 書 類 (面接を含む) 小 論 文	2026年 11月28日(土)	青 森 市	2026年 12月17日(木)	2026年 12月17日(木) ～ 12月28日(月)				
	経 営 学 科	4 5 名											
	経 済 学 科	5 0 名											
	地域みらい学科	2 0 名											
	学校推薦型 (青森県外A)		1 0 名										
	経 営 学 科	5 名											
	経 済 学 科	5 名											
	学校推薦型 (青森県外B)		1 7 名										
	経 営 学 科	7 名											
	経 済 学 科	7 名											
	地域みらい学科	3 名											

※令和9年度大学入学共通テスト実施日は、2027年1月16日(土)・17日(日)です。

Ⅲ 一般選抜（前期日程、後期日程）

1 実施学部・学科及び募集人員

経営経済学部	前期日程	後期日程
経営学科	54名（国数選択枠27名、国英選択枠27名）	5名
経済学科	54名（国数選択枠27名、国英選択枠27名）	5名
地域みらい学科	10名（国数選択枠 5名、国英選択枠 5名）	—

2 選抜方法・実施時期等

前期日程：大学入学共通テストの成績及び本学が実施する教科・科目に係る個別テストの成績と出願書類（調査書等）の内容を審査し、それらを総合して行います。

後期日程：大学入学共通テストの成績と出願書類（調査書等）の内容を審査し、それらを総合して行います。

日程	出願期間	教科・科目に係る個別テスト実施日	合格発表
前期日程	2027年1月25日（月）	2027年2月25日（木）	2027年3月5日（金）
後期日程	～2月3日（水）	教科・科目に係る個別テストは課さない	2027年3月20日（土）

3 出願要件

本学に入学を志願できる者は、次の（１）～（４）のいずれかに該当し、かつ令和9年度大学入学共通テストにおいて、本学が指定する教科・科目（7ページ 大学入学共通テストの利用教科・科目参照）を受験していることを要します。

- （１）高等学校又は中等教育学校を卒業した者、又は2027年3月末までに卒業見込みの者
 - （２）通常の課程による12年の学校教育を修了した者、又は2027年3月末までに修了見込みの者
 - （３）学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者、又は2027年3月末までにこれに該当する見込みの者
 - （４）その他本学において、相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
- 注：出願要件（４）により出願しようとする者については、予め出願資格審査申請書を本学に提出し、出願資格の有無についての審査を受ける必要があります。

4 出願上の注意

- （１）書類に不備がある場合は受験できません。
- （２）本学が指定する大学入学共通テストの教科・科目を受験していない場合は、出願をすることができません。
- （３）一度提出された出願書類及び既納の入学検定料は、理由を問わず返還しません。
- （４）出願受付後には、出願事項の変更は認めません。
ただし、氏名、住所、電話番号に変更があった場合には、本学事務局教務学事グループ入試チームまで連絡してください。
- （５）出願書類に虚偽又は不正があった場合、入学後であっても入学の許可を取り消すことがあります。

5 併願上の注意

- （１）本学の「前期日程」と他の国公立大学（ただし、独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。）の「前期日程」との併願はできません。
また、本学の「後期日程」と他の国公立大学の「後期日程」との併願はできません。
- （２）他の国公立大学の「学校推薦型選抜」及び「総合型選抜」に合格し、入学手続を行った者は、当該大学の入学辞退の許可を受けた場合を除き、本学を受験しても合格者になりません。
重複して入学手続を行った事実が判明した場合は、本学の入学許可を取り消します。
- （３）他の国公立大学の「前期日程」に合格し、入学手続を行った者は、本学の「後期日程」を受験してもその合格者になりません。
重複して入学手続を行った事実が判明した場合は、本学の入学許可を取り消します。

※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部については、公立大学協会ホームページを確認してください。

6 実施教科・科目・配点

(1) 一般選抜の教科・科目(学科共通)

日程	大学入学共通テストの利用教科・科目					教科・科目に係る個別テストの実施教科・科目				
	教科		グループ	科目名等		教科	科目名等			
前期日程	必須	国語		『国語』 (ただし、近代以降の文章のみ)		3教科全て	国語	「現代の国語」「言語文化」 (ただし、近代以降の文章のみ)		
		数学	①	『数学Ⅰ，数学A』 『数学Ⅰ』から1つ						
		外国語		『英語』 (リスニングを含む)						
	選択	数学	②	『数学Ⅱ，数学B，数学C』		左記から1つ	数学	「数学Ⅰ」「数学A」		
		地理歴史		『地理総合，地理探究』 『歴史総合，日本史探究』 『歴史総合，世界史探究』				英語	「英語コミュニケーションⅠ～Ⅲ」 「論理・表現Ⅰ～Ⅲ」 (筆記のみ)	
		公民		『公共，倫理』『公共，政治・経済』 『地理総合／歴史総合／公共』						
〔3教科4科目又は4教科4科目〕										
後期日程	外国語		『英語』 (リスニングを含む)		教科・科目に係る個別テストは課さない					
	数 学	①	『数学Ⅰ，数学A』『数学Ⅰ』から1つ							
	〔2教科2科目〕									

【一般選抜出願の際の留意事項】

ア 出願にあたっては、志望学科に順位をつけて出願することができます。

前期日程においては経営学科・経済学科・地域みらい学科の3学科が対象となります。また、後期日程においては経営学科・経済学科の2学科が対象となります。

イ 前期日程においては教科・科目に係る個別テストの受験科目として、国数選択枠、国英選択枠のいずれか1つを出願時に選択します。

ウ 大学入学共通テストにおいて選択教科を複数受験した場合は、地理歴史、公民のうち第1解答科目、数学グループ②、のいずれか高得点の科目を可否判定に使用します。

エ 教科・科目に係る個別テストの国数選択枠、国英選択枠における数学と英語の得点調整は行いません。

オ 教科・科目に係る個別テストを全教科欠席した場合は、選抜の対象としません。

カ 原則、第一志望学科での選抜となりますが、第二志望以下での合格となる場合もあります。

(2) 配点(学科共通)

(単位：点)

日程	大学入学共通テスト、教科・科目に係る個別テストの配点					
	試験の区分	国語	数学	外国語(英語)	選択科目	配点計
前期日程	共通テスト	100	100	100	100	400
	教科・科目に係る個別テスト	国数選択枠	100	100	—	200
		国英選択枠	100	—	100	200
		国数選択枠	200	200	100	600
	計	国英選択枠	200	100	200	600
後期日程	共通テスト	—	200	200	—	400
	教科・科目に係る個別テストは課さない					
	計	—	200	200	—	400

※大学入学共通テストの国語は「近代以降の文章」の110点を100点に換算します。

※前期日程は、大学入学共通テストの英語「リーディング」100点、「リスニング」100点の計200点を、各50点の計100点に換算します。また、リスニングの受験を免除された者については、リーディング(100点満点)の成績を利用します。

※後期日程は、大学入学共通テストの英語「リーディング」100点、「リスニング」100点の計200点をそのまま活用します。また、リスニングの受験を免除された者(リーディング100点満点)及び大学入学共通テストの「数学」(100点満点)については、2倍の200点に換算します。

Ⅳ 総合型選抜Ⅰ・Ⅱ

1 総合型選抜Ⅰ

総合型選抜Ⅰで求める学生像

本学では、将来の進路について明確な夢を有し、その夢を実現するために目的意識を持って大学生生活を送ろうとする人材を発掘することを目的として、「総合型選抜」を実施します。求める学生像は、

“経営や経済に関心を持ち、得意とする能力や技能を生かして、
将来社会で指導的な役割を果たそうとする意欲ある学生”です。

さらに、3学科の“求める学生像”は、次のとおりです。

<経営学科>

柔軟な発想を持ち、創造力に富み、人とのつながりを大切にする学生

<経済学科>

幅広い社会的関心を持ち、熱いハートの持ち主で、冷静な分析力を有する学生

<地域みらい学科>

旺盛な好奇心と豊かな想像力を持ち、行動力にあふれ、地域と人間に興味がある学生

実 施 学 部	経 営 経 済 学 部			
学 科 名	経 営 学 科	経 済 学 科	地域みらい学科	計
募 集 人 員	9 名	9 名	1 2 名	3 0 名
出 願 期 間	2 0 2 6 年 9 月 7 日 (月) ～ 9 月 1 7 日 (木)			
試 験 日	【小論文・面接】 2 0 2 6 年 1 0 月 1 7 日 (土) (本学で実施)			
出 願 要 件	全国の高等学校又は中等教育学校を2027年3月末までに卒業見込みの者であって、本学を専願し、次の(1)～(3)のいずれかに該当し、かつ大学入学共通テストの出願登録において、本学が指定する前期日程の教科・科目(7ページ参照)の登録及び成績の閲覧を「希望する」と登録し、入学後に当該成績を提出できる者 (1) 高等学校在学中における特別活動等(ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事、部活動等)において顕著な指導力を発揮した者、又は地域社会や地域文化への貢献活動において中核的役割を担って活躍した者であって、全体の学習成績の状況が3.5以上で、かつ①国語、②数学、③外国語(英語)、④地理歴史又は公民の①～④の4教科のうち、いずれか3教科の学習成績の状況が3.8以上の者 (2) 次のア～ウのいずれかの資格を有し、かつ全体の学習成績の状況が3.5以上の者 ア 日本商工会議所主催簿記検定試験2級以上(受験方式問わず)又は公益財団法人全国商業高等学校協会主催簿記実務検定試験1級 イ 独立行政法人 情報処理推進機構主催 基本情報技術者 ウ i～vのいずれかの資格 i 日本英語検定協会主催実用英語技能検定2級以上(受験方式問わず) ii GTEC 930点以上(アセスメント版を除く Basic・Advanced・CBTのオフィシャルスコアに限る) iii TOEIC(Test of English for International Communication) Listening & Reading Test 400点以上 iv TOEFL(Test of English as a Foreign Language)36点以上(Internet-based Test) v 公益財団法人日本国際連合協会主催国際連合公用語英語検定試験C級以上 (3) 全体の学習成績の状況が4.0以上で、かつ①国語、②数学、③外国語(英語)、④地理歴史又は公民の①～④の4教科のうち、いずれか2教科の学習成績の状況が4.5以上の者			

選 抜 方 法 等	全学科とも出願書類の審査、小論文及び面接の結果を総合して選抜します。 面接では、志望動機及び目的意識等を確認します。	
	〈配点〉	
	試 験 内 容	配 点
	出 願 書 類	5 0 点
	小 論 文	5 0 点
	面 接	1 0 0 点
	合 計	2 0 0 点

【総合型選抜Ⅰ出願の際の留意事項】

経営学科、経済学科、地域みらい学科の3学科の中で、志望する1つの学科に出願することになります。

2 総合型選抜Ⅱ

(1) 帰国生徒特別選抜

実 施 学 部	経 営 経 済 学 部										
学 科 名	経 営 学 科	経 済 学 科	地域みらい学科								
募 集 人 員	若 干 名										
出 願 期 間	2 0 2 6年9月7日（月）～ 9 月 1 7 日（木）										
試 験 日	【小論文・面接】 2 0 2 6年1 0月1 7日（土）（本学で実施）										
出 願 要 件	日本国籍を有する者で、海外に在留の結果、次の（１）～（３）のいずれかに該当し、TOEFL（Test of English as a Foreign Language）のスコアを提出できる者 （１） 外国の教育制度に基づく教育機関において、最終学年を含め２学年以上継続して学校教育を受け、１２年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を２０２６年４月１日から２０２７年３月３１日までに修了した者又は修了見込みの者 （２） 外国の教育制度に基づく教育機関において、２年以上継続して学校教育を受け、１２年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を中途退学し、引き続き日本の高等学校の第３学年に編入学を認められた者で、２０２７年３月末までに卒業見込みの者 （３） スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレアの資格を有する者 （注）（１）及び（２）において、外国に設置された教育機関であっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その期間は、外国において学校教育を受けた者とはみなさない。										
選 抜 方 法 等	全学科とも出願書類の審査、小論文及び面接の結果を総合して選抜します。 面接では、志望動機、目的意識及び学修意欲等を確認します。 また、日本語能力についても確認します。 〈配点〉 <table><tr><td>試 験 内 容</td><td>配 点</td></tr><tr><td>小 論 文</td><td>2 0 0 点</td></tr><tr><td>面 接</td><td>3 0 0 点</td></tr><tr><td>合 計</td><td>5 0 0 点</td></tr></table> ※出願書類は、点数化せず、面接の際の参考資料とするとともに、総合的な判定資料とします。			試 験 内 容	配 点	小 論 文	2 0 0 点	面 接	3 0 0 点	合 計	5 0 0 点
試 験 内 容	配 点										
小 論 文	2 0 0 点										
面 接	3 0 0 点										
合 計	5 0 0 点										

【総合型選抜Ⅱ出願の際の留意事項】

経営学科、経済学科、地域みらい学科の3学科の中で、志望する1つの学科に出願することになります。

(2) 社会人特別選抜

実 施 学 部	経 営 経 済 学 部										
学 科 名	経 営 学 科	経 済 学 科	地域みらい学科								
募 集 人 員	若 干 名										
出 願 期 間	2026年9月7日(月)～9月17日(木)										
試 験 日	【小論文・面接】2026年10月17日(土) (本学で実施)										
出 願 要 件	2027年4月1日において満23歳に達し、社会人の経歴を3年以上有する者で、次の(1)～(3)のいずれかに該当する者。ただし、定時制、通信制以外の学校の在学期間は、社会人の経歴期間に含めない。 (1) 高等学校を卒業した者又は2027年3月末までに卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者 (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者										
選 抜 方 法 等	全学科とも出願書類の審査、小論文及び面接の結果を総合して選抜します。面接では、志望動機、目的意識及び学修意欲等を確認します。 〈配点〉 <table><tr><td>試 験 内 容</td><td>配 点</td></tr><tr><td>小 論 文</td><td>200点</td></tr><tr><td>面 接</td><td>300点</td></tr><tr><td>合 計</td><td>500点</td></tr></table> ※出願書類は、点数化せず、面接の際の参考資料とするとともに、総合的な判定資料とします。			試 験 内 容	配 点	小 論 文	200点	面 接	300点	合 計	500点
試 験 内 容	配 点										
小 論 文	200点										
面 接	300点										
合 計	500点										

【総合型選抜Ⅱ出願の際の留意事項】

経営学科、経済学科、地域みらい学科の3学科の中で、志望する1つの学科に出願することになります。

(3) 外国人留学生特別選抜

実 施 学 部	経 営 経 済 学 部										
学 科 名	経 営 学 科	経 済 学 科	地域みらい学科								
募 集 人 員	若 干 名										
出 願 期 間	2026年9月7日(月)～9月17日(木)										
試 験 日	【小論文・面接】2026年10月17日(土)（本学で実施）										
出 願 要 件	次の（１）～（３）のすべてに該当する者 （１） 日本国籍を有しない者で、次のア～ウのいずれかに該当する者 ア 外国の教育制度に基づく教育機関において、学校教育における１２年の課程を修了した者（2027年３月末までに修了見込みの者を含む） イ アに準ずる者で、文部科学大臣の指定した者（昭和５６年文部省告示第１５３号） ウ スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレアの資格を有する者 （２） 独立行政法人 日本学生支援機構が実施する2025年度第２回または2026年度第１回日本留学試験のいずれか一方で、本学の指定する科目（日本語、総合科目、数学コース１）を全て受験した者 （３） TOEFL（Test of English as a Foreign Language）又はTOEIC（Test of English for International Communication）Listening & Reading Test のスコアを提出できる者										
選 抜 方 法 等	全学科とも出願書類の審査、小論文及び面接の結果を総合して選抜します。 面接では、志望動機、目的意識及び学修意欲等を確認します。 また、日本語能力についても確認します。 〈配点〉 <table><tr><td>試 験 内 容</td><td>配 点</td></tr><tr><td>小 論 文</td><td>200点</td></tr><tr><td>面 接</td><td>300点</td></tr><tr><td>合 計</td><td>500点</td></tr></table> ※出願書類は、点数化せず、面接の際の参考資料とするとともに、総合的な判定資料とします。			試 験 内 容	配 点	小 論 文	200点	面 接	300点	合 計	500点
試 験 内 容	配 点										
小 論 文	200点										
面 接	300点										
合 計	500点										

【総合型選抜Ⅱ出願の際の留意事項】

経営学科、経済学科、地域みらい学科の3学科の中で、志望する1つの学科に出願することになります。

V 学校推薦型選抜

1 学校推薦型選抜（青森県内）

実 施 学 部		経 営 経 済 学 部										
学 科 名	経 営 学 科	経 済 学 科	地域みらい学科	計								
募 集 人 員	4 5 名	5 0 名	2 0 名	1 1 5 名								
出 願 期 間	2 0 2 6 年 1 1 月 4 日（水）～ 1 1 月 1 3 日（金）											
試 験 日	【小論文・面接】 2 0 2 6 年 1 1 月 2 8 日（土）（本学で実施）											
出 願 要 件	次の（１）～（４）のすべてに該当し、高等学校長が本学の教育目的及び教育システムに対応できる資質と基礎学力を有する者と判断し、責任をもって推薦できる者 （１） 青森県内の高等学校（通信制は除く）を 2 0 2 7 年 3 月末までに卒業見込みの者 （２） 本学における教育システムを十分に理解したうえで、本学での勉学を強く志望し、合格した場合には、必ず入学することを確約できる者 （３） 次のア～ウのいずれかの資格を有し、全体の学習成績の状況が 3. 5 以上で、かつ①国語、②数学、③外国語（英語）、④地理歴史又は公民の①～④の 4 教科のうち、いずれか 3 教科の学習成績の状況が 3. 5 以上の者 ア i ～iii のいずれかの資格 i 日本英語検定協会主催実用英語技能検定準 2 級以上（受験方式問わず） ii GTEC 680 点以上（アセスメント版を除く Basic・Advanced・CBT のオフィシャルスコアに限る） iii TOEIC（Test of English for International Communication）Listening & Reading Test 375 点以上の者 イ 日本商工会議所主催簿記検定試験 2 級以上（受験方式問わず）又は公益財団法人全国商業高等学校協会主催簿記実務検定試験 1 級 ウ 独立行政法人 情報処理推進機構主催 基本情報技術者 （４） 大学入学共通テストの出願登録において、本学が指定する前期日程の教科・科目（7 ページ参照）の登録及び成績の閲覧を「希望する」と登録し、入学後に当該成績を提出できる者											
選 抜 方 法 等	出願書類審査（面接を含む）及び小論文試験の結果を総合して選抜する。 面接では、出願書類等の内容を確認します。 〈配点〉 <table><tr><th>試 験 内 容</th><th>配 点</th></tr><tr><td>出 願 書 類 （面接を含む）</td><td>1 0 0 点 （出願書類 8 0 点／面接 2 0 点）</td></tr><tr><td>小 論 文</td><td>1 0 0 点</td></tr><tr><td>合 計</td><td>2 0 0 点</td></tr></table>				試 験 内 容	配 点	出 願 書 類 （面接を含む）	1 0 0 点 （出願書類 8 0 点／面接 2 0 点）	小 論 文	1 0 0 点	合 計	2 0 0 点
試 験 内 容	配 点											
出 願 書 類 （面接を含む）	1 0 0 点 （出願書類 8 0 点／面接 2 0 点）											
小 論 文	1 0 0 点											
合 計	2 0 0 点											

【学校推薦（青森県内）出願の際の留意事項】

第1志望学科から第3志望学科まで順位をつけて出願することができます。

2 学校推薦型選抜（青森県外A）

実 施 学 部	経 営 経 済 学 部										
学 科 名	経 営 学 科	経 済 学 科	計								
募 集 人 員	5 名	5 名	1 0 名								
出 願 期 間	2 0 2 6 年 1 1 月 4 日（水）～ 1 1 月 1 3 日（金）										
試 験 日	【小論文・面接】 2 0 2 6 年 1 1 月 2 8 日（土）（本学で実施）										
出 願 要 件	次の（１）～（４）のすべてに該当し、高等学校長が本学の教育目的及び教育システムに対応できる資質と基礎学力を有する者と判断し、責任をもって推薦できる者 （１） 青森県外の高等学校で、本学が指定する高等学校を 2 0 2 7 年 3 月末までに卒業見込みの者 （２） 本学における教育システムを十分に理解したうえで、本学での勉学を強く志望し、合格した場合には、必ず入学することを確認できる者 （３） 全体の学習成績の状況が 3.5 以上で、かつ①国語、②数学、③外国語（英語）、④地理歴史又は公民の①～④の 4 教科のうち、いずれか 3 教科の学習成績の状況が 3.6 以上の者 （４） 大学入学共通テストの出願登録において、本学が指定する前期日程の教科・科目（7 ページ参照）の登録及び成績の閲覧を「希望する」と登録し、入学後に当該成績を提出できる者										
選 抜 方 法 等	出願書類審査（面接を含む）及び小論文試験の結果を総合して選抜する。 面接では、出願書類等の内容を確認します。 〈配点〉 <table><tr><td>試 験 内 容</td><td>配 点</td></tr><tr><td>出 願 書 類 （面接を含む）</td><td>1 0 0 点 （出願書類 8 0 点／面接 2 0 点）</td></tr><tr><td>小 論 文</td><td>1 0 0 点</td></tr><tr><td>合 計</td><td>2 0 0 点</td></tr></table>			試 験 内 容	配 点	出 願 書 類 （面接を含む）	1 0 0 点 （出願書類 8 0 点／面接 2 0 点）	小 論 文	1 0 0 点	合 計	2 0 0 点
試 験 内 容	配 点										
出 願 書 類 （面接を含む）	1 0 0 点 （出願書類 8 0 点／面接 2 0 点）										
小 論 文	1 0 0 点										
合 計	2 0 0 点										

【学校推薦（青森県外A）出願の際の留意事項】

第 1 志望学科及び第 2 志望学科として順位をつけて出願することができます。

3 学校推薦型選抜（青森県外B）

実 施 学 部	経 営 経 済 学 部											
学 科 名	経 営 学 科	経 済 学 科	地域みらい学科	計								
募 集 人 員	7 名	7 名	3 名	1 7 名								
出 願 期 間	2 0 2 6 年 1 1 月 4 日（水）～ 1 1 月 1 3 日（金）											
試 験 日	【小論文・面接】 2 0 2 6 年 1 1 月 2 8 日（土）（本学で実施）											
出 願 要 件	次の（１）～（４）のすべてに該当し、高等学校長が本学の教育目的及び教育システムに対応できる資質と基礎学力を有する者と判断し、責任をもって推薦できる者 （１） 青森県を除く全国の高等学校又は中等教育学校（通信制は除く）を 2 0 2 7 年 3 月末までに卒業見込みの者 （２） 本学における教育システムを十分に理解したうえで、本学での勉学を強く志望し、合格した場合には、必ず入学することを確約できる者 （３） 次のア～ウのいずれかの資格を有し、全体の学習成績の状況が 3. 8 以上で、かつ①国語、②数学、③外国語（英語）、④地理歴史又は公民の①～④の 4 教科のうち、いずれか 3 教科の学習成績の状況が 3. 8 以上の者 ア i ～iii のいずれかの資格 i 日本英語検定協会主催実用英語技能検定準 2 級以上（受験方式問わず） ii GTEC 680 点以上（アセスメント版を除く Basic・Advanced・CBT のオフィシャルスコアに限る） iii TOEIC（Test of English for International Communication）Listening & Reading Test 375 点以上 イ 日本商工会議所主催簿記検定試験 2 級以上（受験方式問わず）又は公益財団法人全国商業高等学校協会主催簿記実務検定試験 1 級 ウ 独立行政法人 情報処理推進機構主催 基本情報技術者 （４） 大学入学共通テストの出願登録において、本学が指定する前期日程の教科・科目（7 ページ参照）の登録及び成績の閲覧を「希望する」と登録し、入学後に当該成績を提出できる者											
選 抜 方 法 等	出願書類審査（面接を含む）及び小論文試験の結果を総合して選抜する。 面接では、出願書類等の内容を確認します。 〈配点〉 <table><tr><td>試 験 内 容</td><td>配 点</td></tr><tr><td>出 願 書 類 （面接を含む）</td><td>1 0 0 点 （出願書類 8 0 点／面接 2 0 点）</td></tr><tr><td>小 論 文</td><td>1 0 0 点</td></tr><tr><td>合 計</td><td>2 0 0 点</td></tr></table>				試 験 内 容	配 点	出 願 書 類 （面接を含む）	1 0 0 点 （出願書類 8 0 点／面接 2 0 点）	小 論 文	1 0 0 点	合 計	2 0 0 点
試 験 内 容	配 点											
出 願 書 類 （面接を含む）	1 0 0 点 （出願書類 8 0 点／面接 2 0 点）											
小 論 文	1 0 0 点											
合 計	2 0 0 点											

【学校推薦（青森県外B）出願の際の留意事項】

第 1 志望学科から第 3 志望学科まで順位をつけて出願することができます。

Ⅵ 受験上の配慮等に関する事前相談について

障がい又は病気その他の理由で、受験上及び修学上の配慮を希望する志願者は、出願の前に予め本学事務局教務学事グループ入試チームまで、必ず電話またはメールで連絡・相談してください。

- ① 連絡の時期 随時受付しておりますが、出願を希望する選抜の出願開始日より前に相談してください。
- ② 受付時間 9:00～17:00 ※土曜日、日曜日及び祝日は受け付けません。
- ③ 連絡先 青森公立大学事務局 教務学事グループ 入試チーム
TEL: 017-764-1602 (直通)
017-764-1601 (直通)
017-764-1555 (代表)
E-mail: nyuusi-t@mat.nebuta.ac.jp

Ⅶ 学生募集要項について

入学者選抜要項には、入学者選抜に関する基本的な事項を記載しています。今後、変更が生じる場合もありますので、出願する際は、各選抜区分の学生募集要項を必ず確認してください。

各選抜区分の学生募集要項の公表予定は、以下のとおりです。

選 抜 区 分	公表時期(予定)
総 合 型 選 抜 I	7 月 上 旬
総 合 型 選 抜 II	7 月 上 旬
学 校 推 薦 型 選 抜	9 月 下 旬
一 般 選 抜	11 月 中 旬

Ⅷ 大学案内の資料請求について

本学入試サイトから、「LINE」「テレメール」「モパっちょ」を利用して大学案内の資料請求ができます。必要な料金・発送方法は、各ウェブサイトで確認してください。

資料請求ページ



——— 入学試験に関するお問い合わせ先 ———

青森公立大学 事務局 教務学事グループ 入試チーム

〒030-0196 青森市大字合子沢字山崎153番地4

TEL 017(764)1602(直通)

017(764)1601(直通)

017(764)1555(代表)